

レイテ王国城下町――

おじさん
いつもありがとっ

レイナちゃんっ
きよ今日も可愛いねえ
レイナちゃんのパンは
すごくおいしくてね……

あははおじさん
それ昨日も言ってたよ
どーもね

まだ幼い妹には辛い
出来事だったけど
好奇心旺盛なこともあり

パンを焼く手伝いを
してくれて
なんとか二人でやっている

両親を早くに亡くして
しまったあたしは
なんとか食べていくため
パン屋を営んでいます――

二人だと
大変なことも
あったけど

やっほー!!
売れてるかー?

わー?
大工さんのお仕事
サボってていいのー?

昼飯に少しパン
もらえたらなってさ

これから3人で
頑張っていくこと
になりました――

今朝あんだけ
食べたのに

しょうがない
レイナさん特製
スペシャルブレッドを
あげましょう

どけ
クソガキツ!!

何度も言わせるな!!
ここは今からメレニア様が
お通りになるのだっ

ぐうぐう...

これ以上痛い目に
あいたくなかったら
通路に出るんじゃないっ

うるさいっ
そのガキには散々
注意してるんだっ

お前らやめろっ
子供のしたことだろっ!!

あいつらまた....

あれ....

何ごとじゃ



……ッ!!



ほう…
聞き分けのないやつは
死ぬまで税をあげればよい



はっ申し訳ありません
こやつがガキをかばい
邪魔をしているのです



王女よ

あれって…

わわたしには将来を
誓ったものがおりまして…

おねえちゃん
あれ…

ほうこの期に及んで
何を言うかと思えば…
お父上に言えばこの街から
消すこともできるんじゃないぞ

……ッ



どうしてくれようかと
思うておったが
お前城にきて
わらわの夜の相手をする事を許そう



ほお
そのもののお前は
運がよいのう
此度の無礼許さんでもないぞ

その日の夜――

あっちに逃げたぞっ

ばあ ばあ

冗談じゃないっ
あんなクソ王女と
なんてできるかっ

すぐにレイナ達と合流して
この街を出るぞっ



えっ あっ…カイトっ
大丈夫なの!?
お城に連れてかれたって…

すまない二人ともっ
すぐにこの家を
出るぞっ

えっ!?

いきなり出て
いくって
どういうこと?

悪いけど…
今は時間がないんだっ
ちゃんと説明はあとでっ…





入ってくんじゃねえツ!!



勝手に俺らの家に…



貴様アツ!!
もう逃げられんぞツ!!



先程の者を
連れてまいれ



いくら王女様の
命令といえど……
聞けません



ま待ってくださいい…
私は何もしてませんっ
こ殺さないでくださいい……



ふむ……

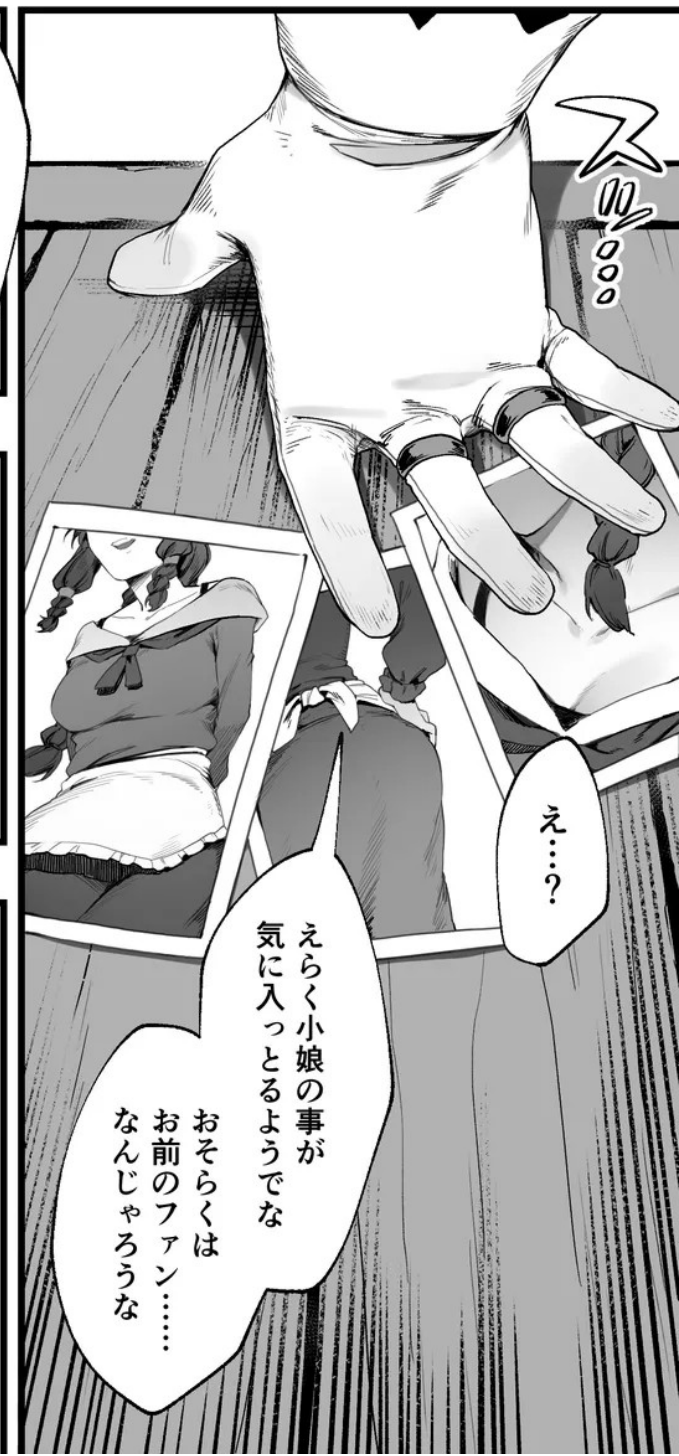
そうか……



こやつか将来を
誓ったとかいうのは……

見たところ
薄汚い小娘じゃ

こやつがおるから
わらわの物にならん
というのだな?





一年後――

メレニア様……
本日のご奉仕……
いかがでしたでしょうか……

よいさすがは
わらわが
見込んだペットじゃ

そういえば
お前の元婚約者じゃが
城にくると言うておったの
いつじやったか……

ここんな事に
なっちゃったけど……
へ変な事は絶対しないからっ!!

絶対!!
あ安心してっ!!

そうですね……
いつもパン……買って
くれてましたもんね……

とかいうておった
そうじゃが――

気になるか?
あれからどうなったか
教えてやろうか

ちくいち状況を
報告するよう
言うておったからの

1日持たんかった——









ちよちよっと
話聞いて……っ

自分のものだ
と認識した途端
理性がとぶ――



だから
これ以上は……

うれしいなあ……

え？



童貞まるだしの
交尾じゃ

いやあああ

そこからはずっと
自分が気持ちよくなる
ためのだけ

あの歳になって
はじめて女を
知ったからのう

レイナちゃんのおまんこお……♡

気持ちよくて
いっぱいでちゃう♡

出しても出しても
足りんわけじゃわ

はちゅ♡はちゅ♡
はちゅ♡はちゅ♡

はちゅ♡はちゅ♡
はちゅ♡はちゅ♡

ああ〜でるでる
レイナちゃん
しごいてしごいて♡

はちゅ♡はちゅ♡
はちゅ♡はちゅ♡

その日は朝から
8回小娘の中に
出したそうじゃ——

おエ……

おエ……

パンを買う時しか
話ができなかった
高嶺の花——

それが今では
自分の前でよがり
狂っとるわけじゃ——

パンを買う時しか
話ができなかった
高嶺の花——

たっちゃん たっちゃん たっちゃん たっちゃん たっちゃん たっちゃん

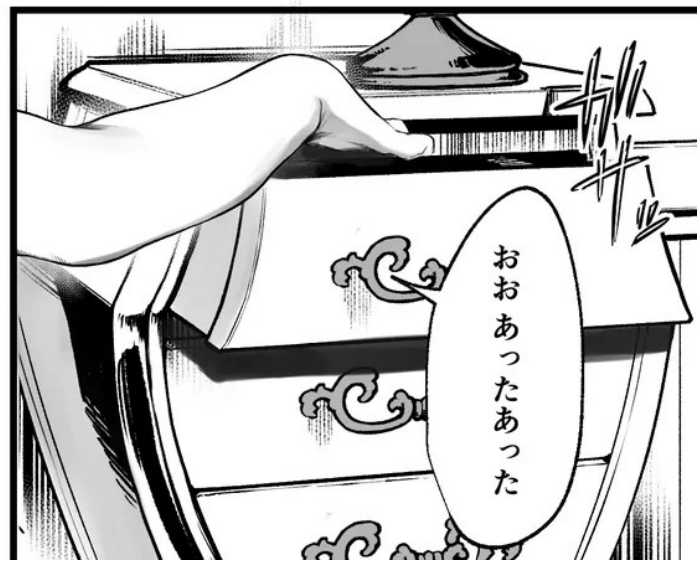
それが今では
自分の前だよがり
狂っとるわけじゃ——

[illegible]









いいじゃない
記念だよ記念
誰にも見せないよ

だっだめよ
こんなの……

ボクがこれみて
一人でする用に……ね？
レイナちゃんも
楽になるでしょ？

ほら
手どけて



うは♡レイナちゃんって
毎晩こうやって
してたんだね♡

レイナちゃんのおナニー見て
先走り汁がとまんないよ♡

ももういいでしょ……♡
恥ずかしいから……♡

ダメだよ
レイナちゃんが
イクまでだよ

そんな……ッ♡

はぁ……♡

はぁ……♡

はぁ……♡

うん……♡

うん……♡

ボクも
手伝ってあげるよ

っふっふ

あっ……

おっ……
おっ……
おっ……

おっ……
おっ……
おっ……

おっ……
おっ……
おっ……

ゆび……♡
いれちゃ……♡

ほら手伝ってもらおう
オナニーきもちいいね？

浅いとこっ……♡
コスコス……いやあ……♡

くちゅくちゅ♡
くちゅくちゅ♡

くちゅくちゅ♡
くちゅくちゅ♡

くちゅくちゅ♡
くちゅくちゅ♡
くちゅくちゅ♡

ほらほらほらほら
 どんどん気持ちよく
 なっちやうねえ

いやあつ…♡
 ゆびい…♡
 とめてえ♡♡

いやあ……♡
きちゃう……♡
きちゃうっ……♡

カイトお…♡
カイトお…♡

いっっちゃう…♡
いっちゃう…♡
いくいく…♡ ツ



しゅわん♡♡

せし

あひ

あひ

あひ

あひ

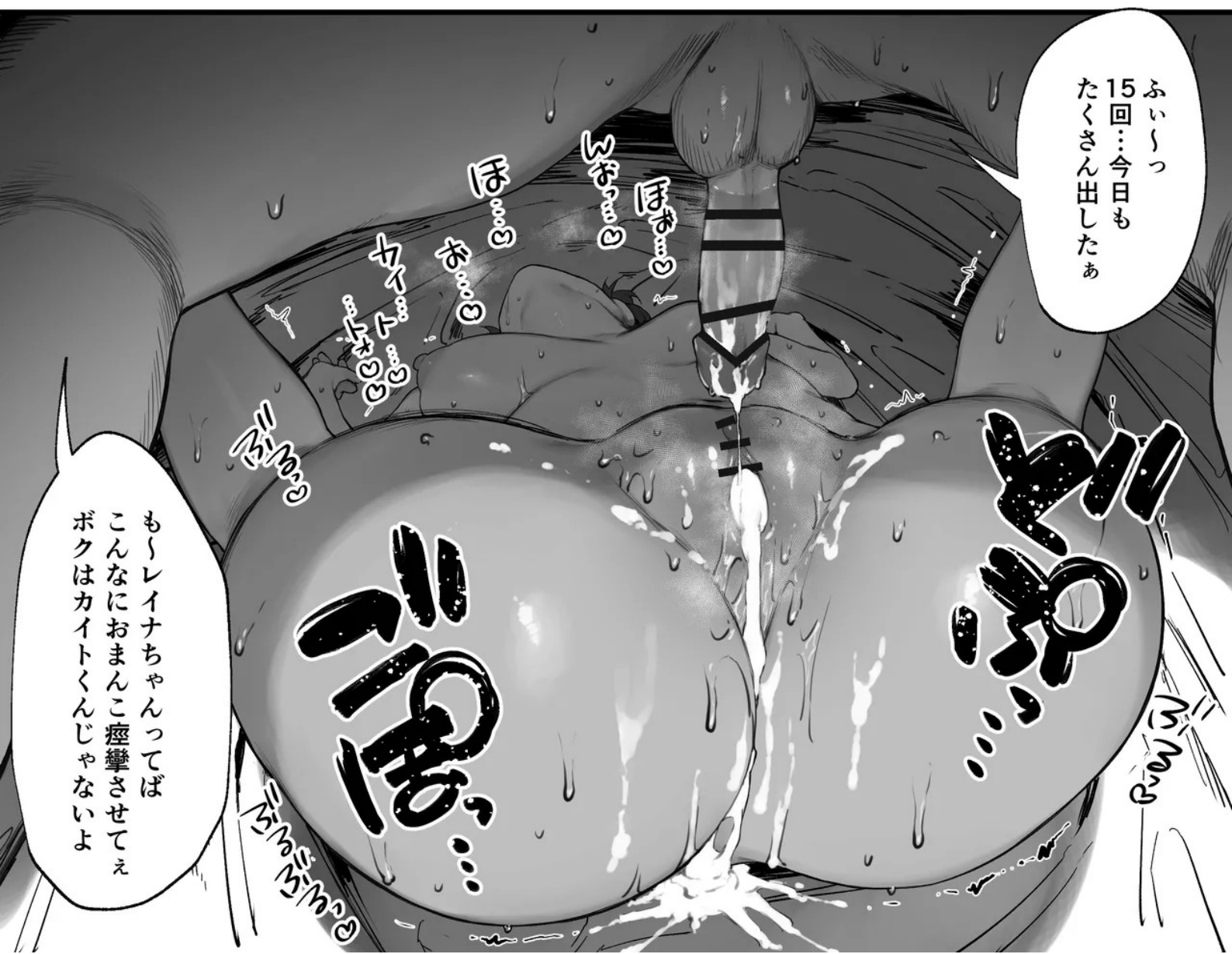
あひ

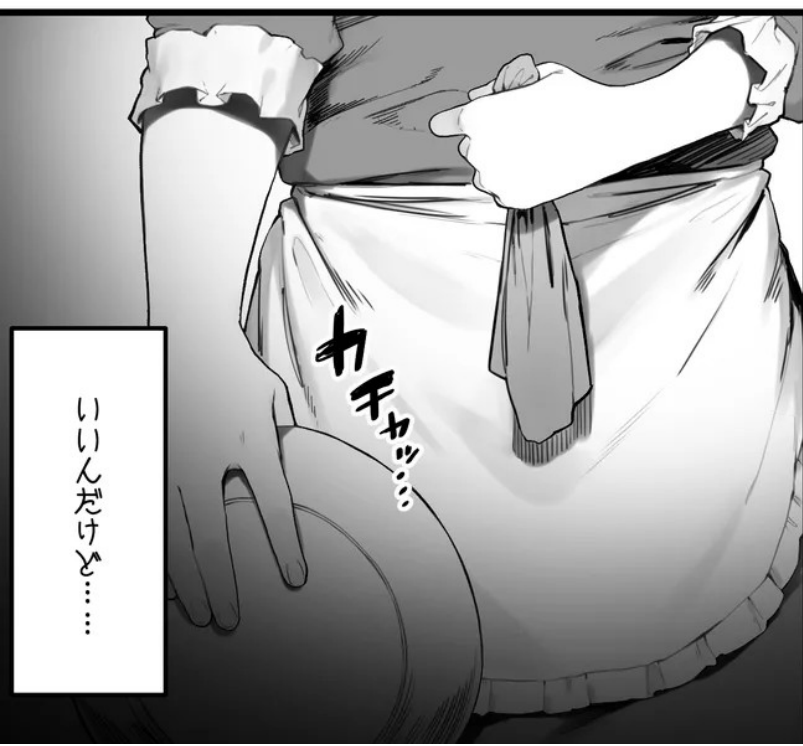
あひ

いっぱいイケたね
レイナちゃん











足りない……
うそ……

前はこれで
イケたのに……



やっぱり……
あれが……♡



何……
何考えてるの
あたし……♡

ん……？
何この音……



たまるものは
たまるのよね……♡

ほ……♡

ふ……♡
ふ……♡

ふ……♡
ふ……♡
ふ……♡
ふ……♡



お姉ちゃんの声聞いて
我慢できなく
なっちゃった？

いやっ……
これっ……ちがつ……ッ

……そそういう
わけじゃなくてその……

ほら

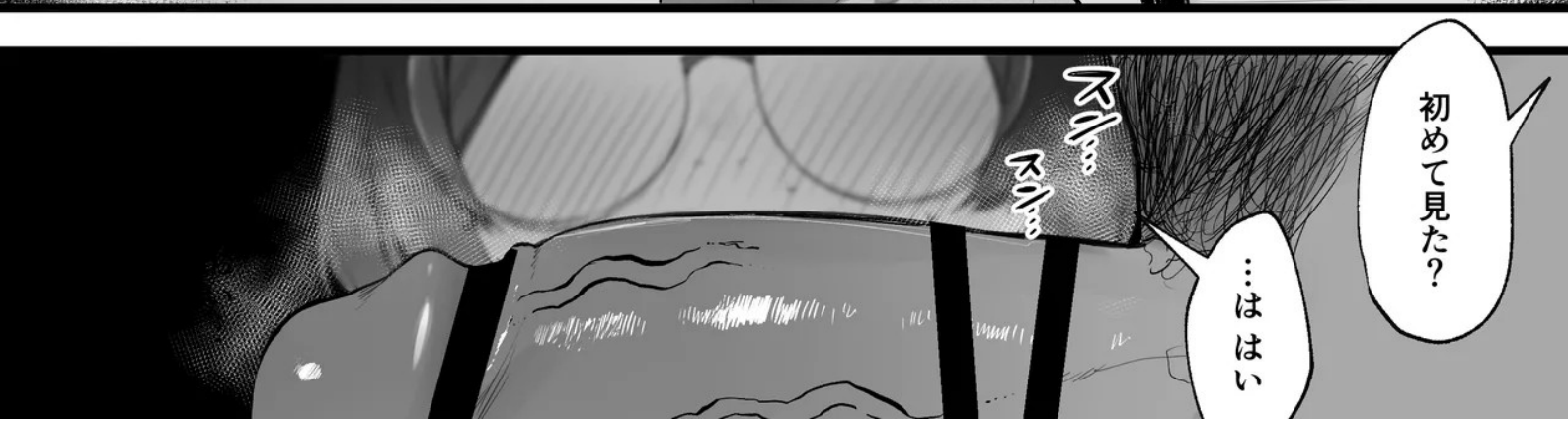


これ……男の人の……

こんな大きなのが……
お姉ちゃんの中に……？

ちよつと
さわってみる？

ぽろっ
ぽろっ
ぽろっ



初めて見た？

……はい



でもお姉ちゃん
ばかり気持ちよくなって
気になって仕方ない…
でしょう？



気になる？
ちよっと舐めてみる？

え……いや

おお姉ちゃんに
怒られる……から……



お……い……

ほらこういうのも
勉強ってもんだよ
おじさんの前に
来てごらん



さあおてて使って
ゆっくり
やってみてごらん

え……あ……
う……う……

ああ……♡
そうそう先っぽ
チロチロして……♡

そう……♡

はあ……
きもちいい……♡

ユウナちゃん
上手じゃないか
本見てこっそり勉強
してたでしょ？

ししてないです……

えーほんと？

チロッ
チロッ

チロッ
チロッ





そう……先っちょ
丁寧な舐めながら……
しごいて……♡

お♡

んおおお♡

イクっ
イクっ♡

は♡
は♡

は♡

は♡

は♡
は♡

は♡
は♡

は♡
は♡

おじさんの子種汁
どぶどぶ出るよお♡♡

いっぱい飲んだよ♡

♡
♡
♡





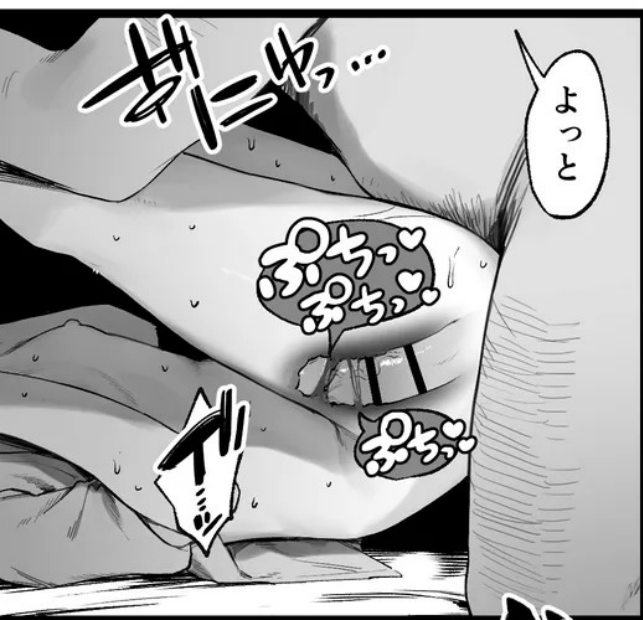






大丈夫だよ
ユウナちゃん♡
おじさんゆっくり
するからね...♡

カリが入るかな...
おっ...入った



よっと



ほらすごいよ...
今からユウナちゃんの
ここまでおじさんの
入っちゃうんだよ♡

ここわい....



入った♡
はいったあ♡

おほお♡





ああああ
だめだッ!!

もう精子がギューンギューン
せり上がってきてるッ!!

ユウナちゃんっ
いっぱい中に出るけど
いいよね?

おじさんの全部
ユウナちゃんの
子宮にでるけど
いいよね?

めっ
やっ
めっ
やっ

○才の未使用まんこに
中年の特濃子種汁ッ

い
ちゅ

ユウナちゃん♡
もうおじさん抜けない
とこまで来てるからッ!!
絶対中で射精するからッ!!

め
ち
っか
レ

おどろき

[illegible]

ヤ
チ
ン

しゅーん





まだでる
いっ
♡

あああゝ……
たっぷりでた……♡

ようしユウナちゃん
またしたくなったら
いつでも言うんだよ？

おじさん
また来るからね

びく

びく

きゅん

かか

かか





へへへ
ユウナちゃん…

ばあ…
さあ…

一回してから
おじさんのに
興味津々だね……



ニヤッ♡
ニヤッ♡
ニヤッ♡
ニヤッ♡
ニヤッ♡



お姉ちゃんには
ナイショにしてきた？

えらいえらい
今日はいっぱい
気持ちよく
してあげるからね



今思えばあの時
妹のちょっとした
変化に気づいていれば

こんな事には
ならなかったの
かもしれない……

あれだけがつついて
来てた人が突然
求めてつなくなるなんて

ギ
ミッ
...

はっ
はっ
はっ

ユウナちゃん
可愛いねえ♡
ちっちゃいおくちで
おじさんのを……おほっ♡



よく考えなくても
わかることだったのに……





たぢゅ...

たぢゅ...

たぢゅ...

なんの音...?

ユウナの部屋のほう......

たぢゅ...

たぢゅ...

たぢゅ...

...

あ...ッ

たぢゅ...

たぢゅ...

ちよつと...
待って...

嘘よね...
そんなワケない...

たぢゅ...

たぢゅ...

！！！！

え？

ユウナちゃん♡
どれだけおじさんの
搾る気なの♡

もう10回以上も
おねだりして
よくばりさんだねえ♡

あ♡
お♡

う♡

♡

♡

も♡もう
大♡お♡

♡

遠慮しなくても
まだまだぴゅっぴゅ
してあげるからね♡

♡

お♡

ほ♡

♡

う♡う♡
う♡う♡

ユウナ……ッ!?





それから数週間――

あの人はユウナと
だけするようになった――

GET

あたしにはカイトが
いるからと

日に日に
壊れそゝになる
氣持ちを

自慰行為で
保つのが精一杯だった

まあでも——
もう十回以上しても

満足できなくなつちやつただけだね――

満足をきなく
なっちゃったんだよね——



ああ〜…♡
おじさんの精子
ゴクゴク飲んで…♡

おふっ♡
おふっ♡



ごはん…
できたけど…

うんっ…!!
ありがとっ
もうちょっとでイク
から先に食べてて!!

あー…
ユウナちゃん
いっぱい出るよっ♡

あ♡
あ♡

うっ♡
うっ♡



ご飯食べて…
ね……？

また…
あとで…
したい…♡

なで♡なで♡

さあ♡ さあ♡



おおじさん…
だめだよ
お姉ちゃんのごはん…
食べないと…

え〜…でも…

ユウナちゃんっ
ほんとに可愛いね
もう一回しようか



カイト……

カイト……

カイト……

カイト……

カイト……

カイト……

入りたい……

入りたい……

入りたい……

入りたい……

おちんちんっ♡

おちんちんっ♡

レイナちゃん

♡7♡

♡7…♡

おちんちんっ♡

おちんちんっ♡

レイナちゃんっ♡

おちんちんっ♡

おちんちんっ♡



大丈夫……？

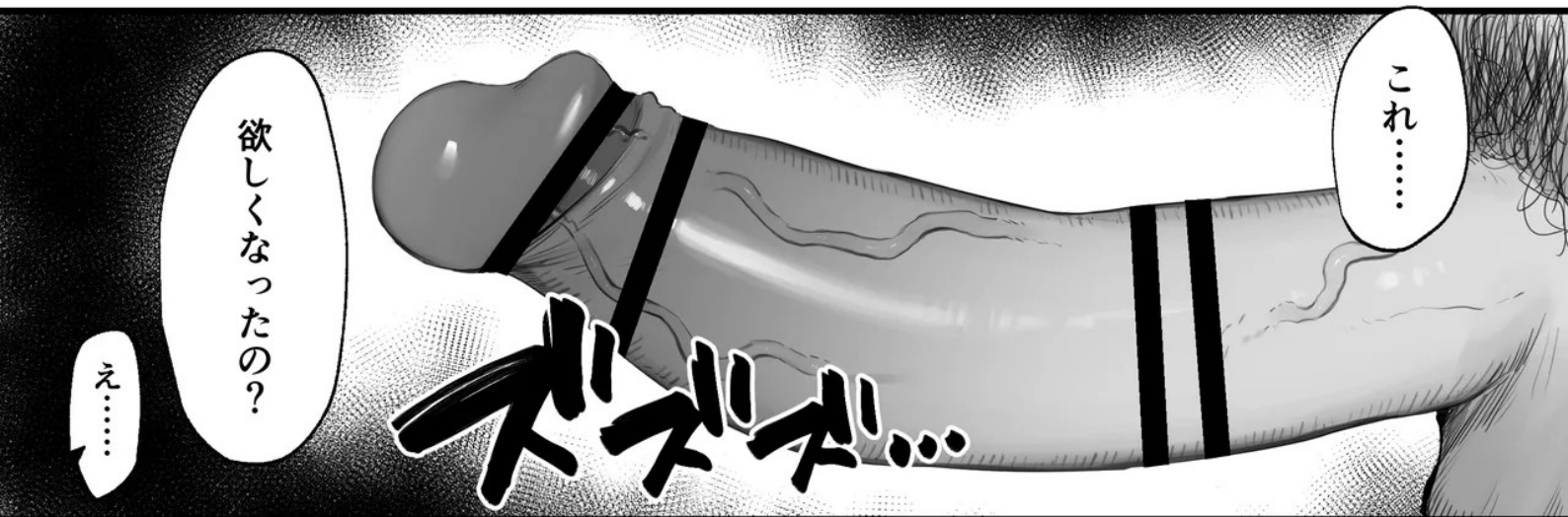
あ……あ……

アッ……



レイナちゃんっ!!

セッ……



これ……

ズズズ……

欲しくなったの？

え……



い……いや……

いいの？
これが最後のチャンスだよ

え……

あ……あたしには
カイト……

一生オナニーだけして
生きてくんだよ？
それでもいい？

あ……

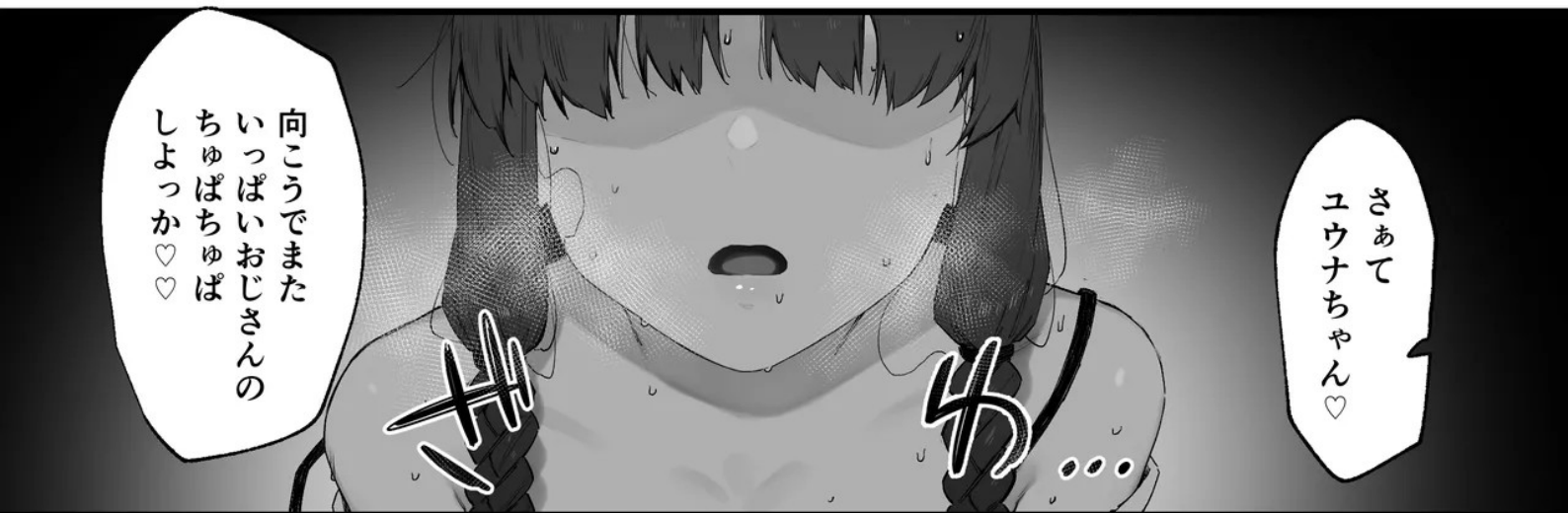
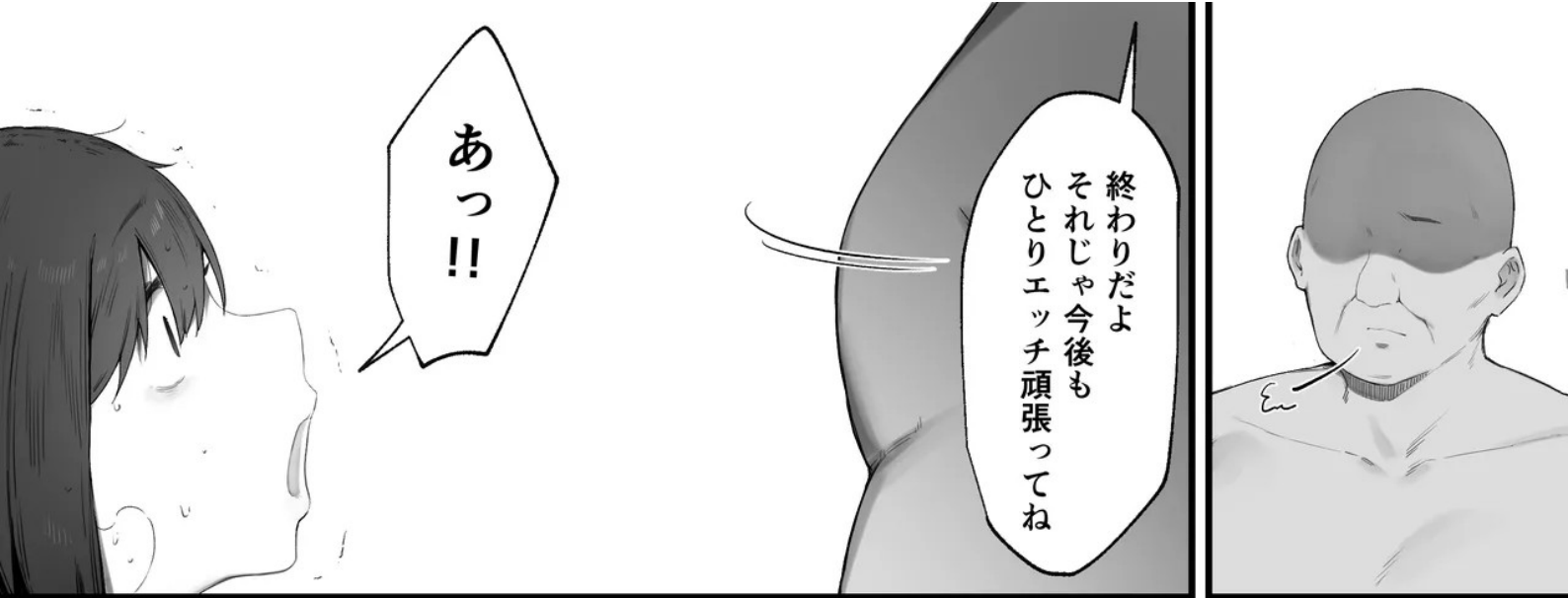
あたし……カイト……

ドゥン……

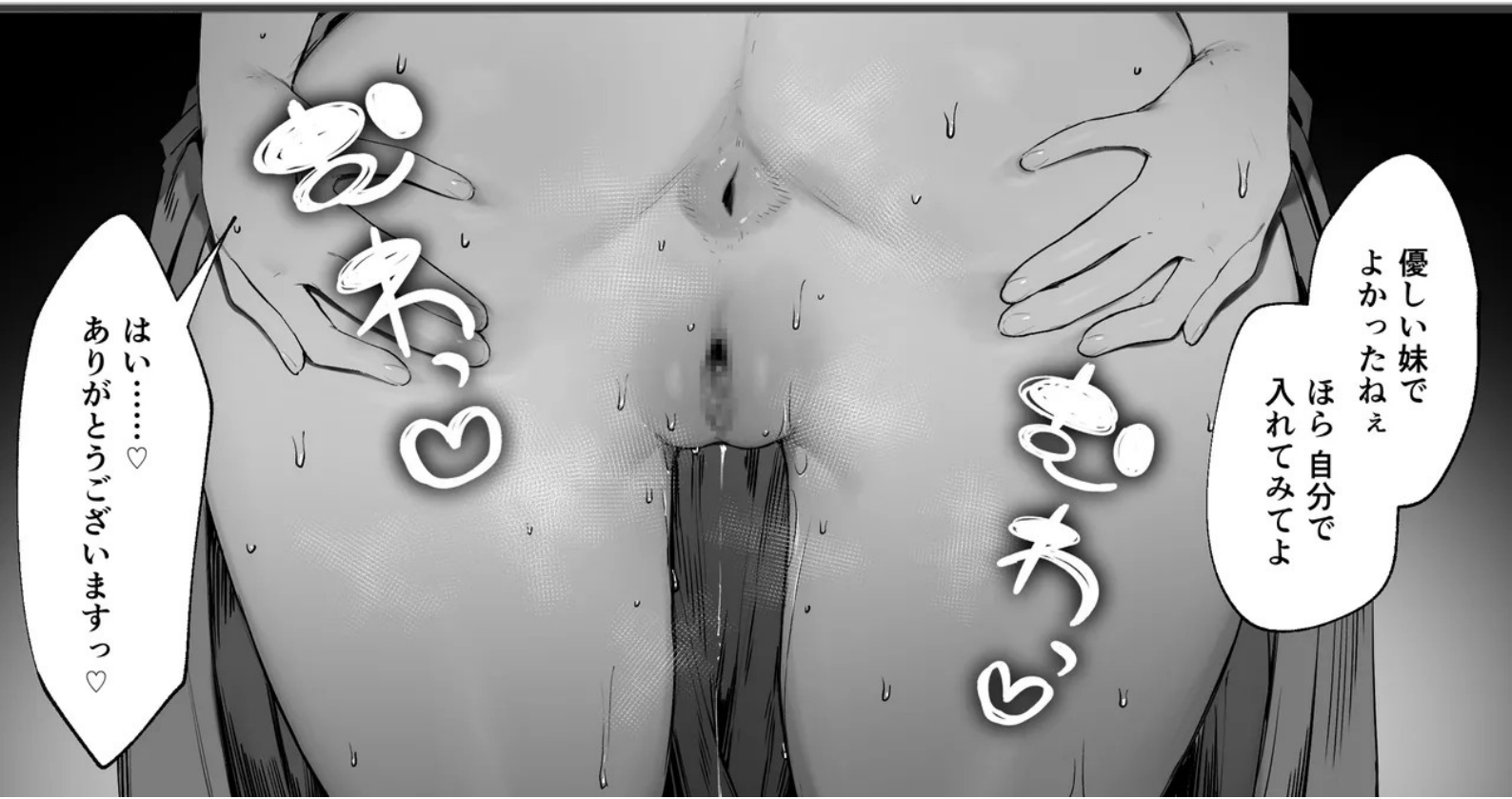
ドゥン……

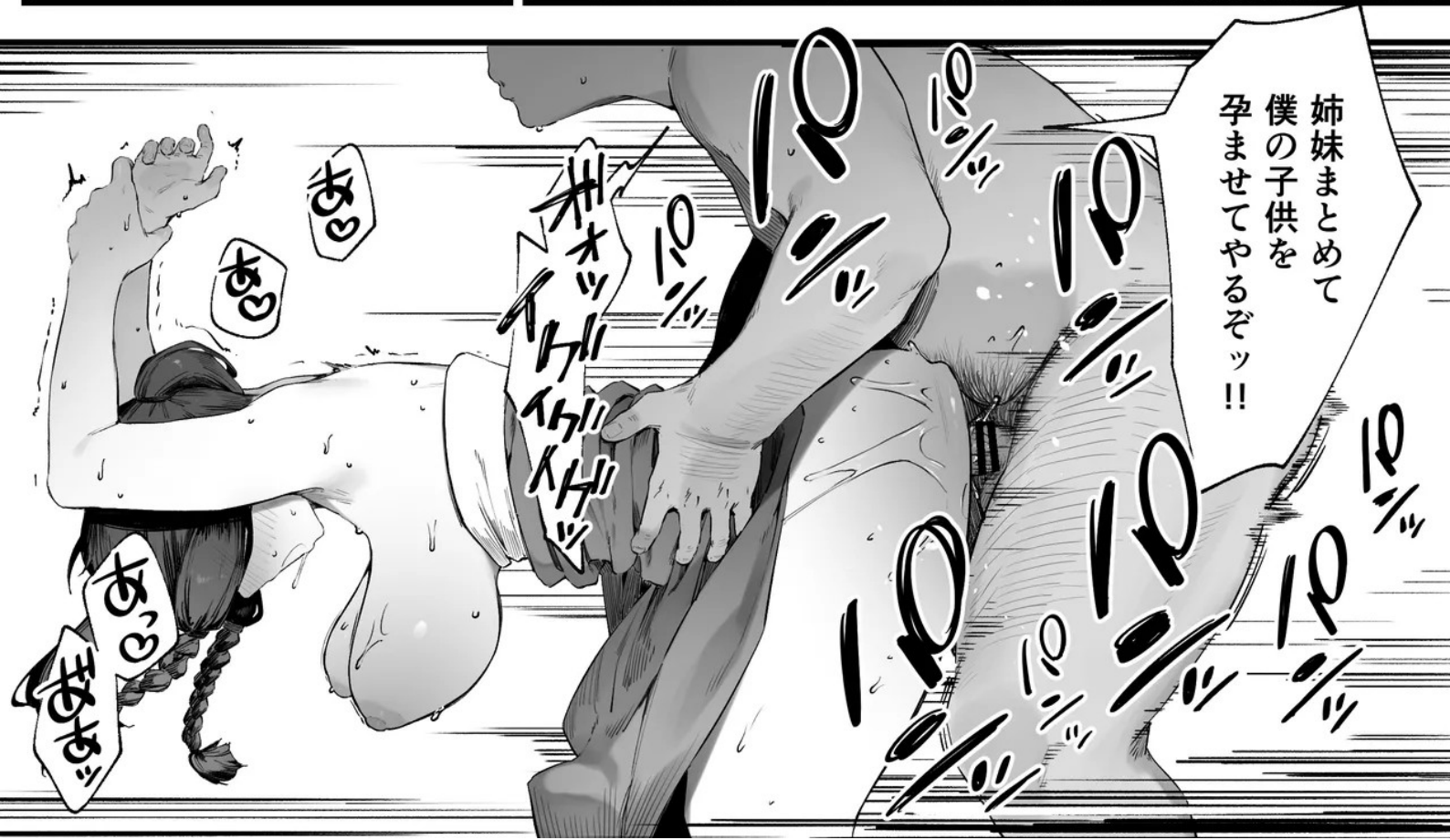
ドゥン……

ドゥン……

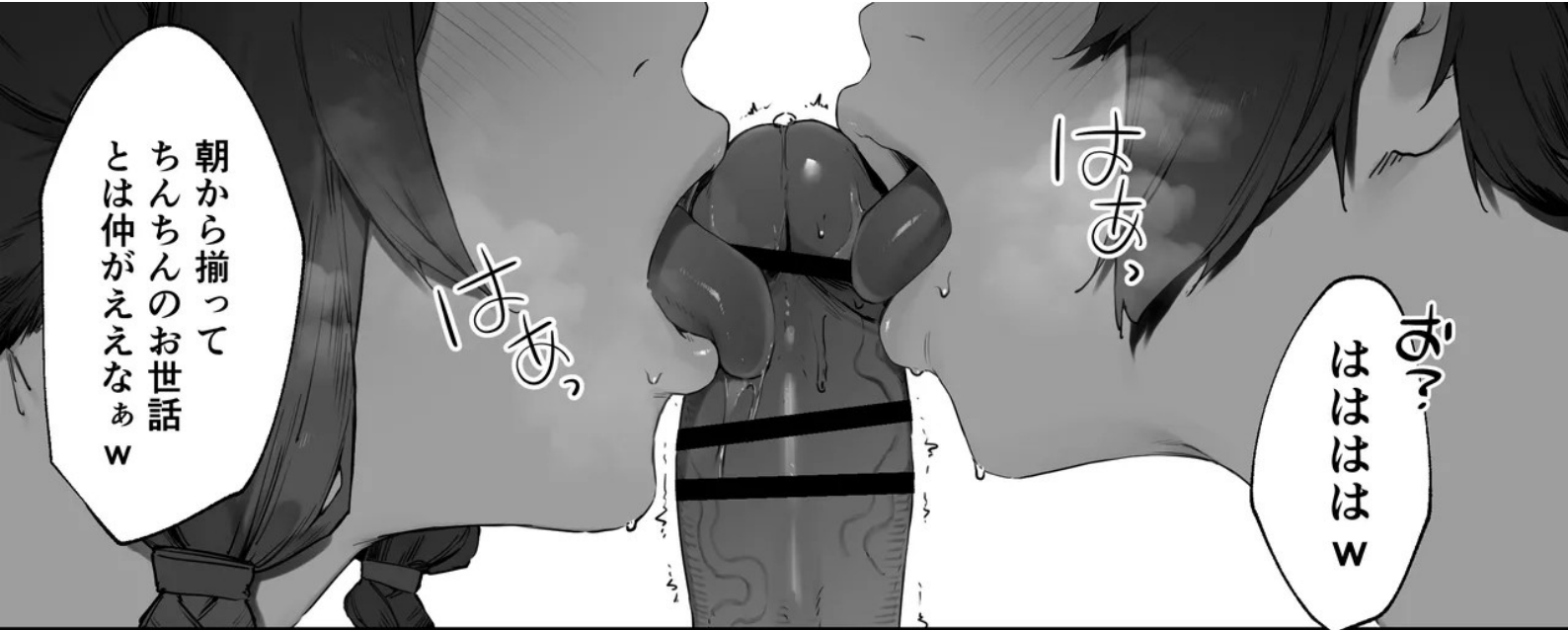


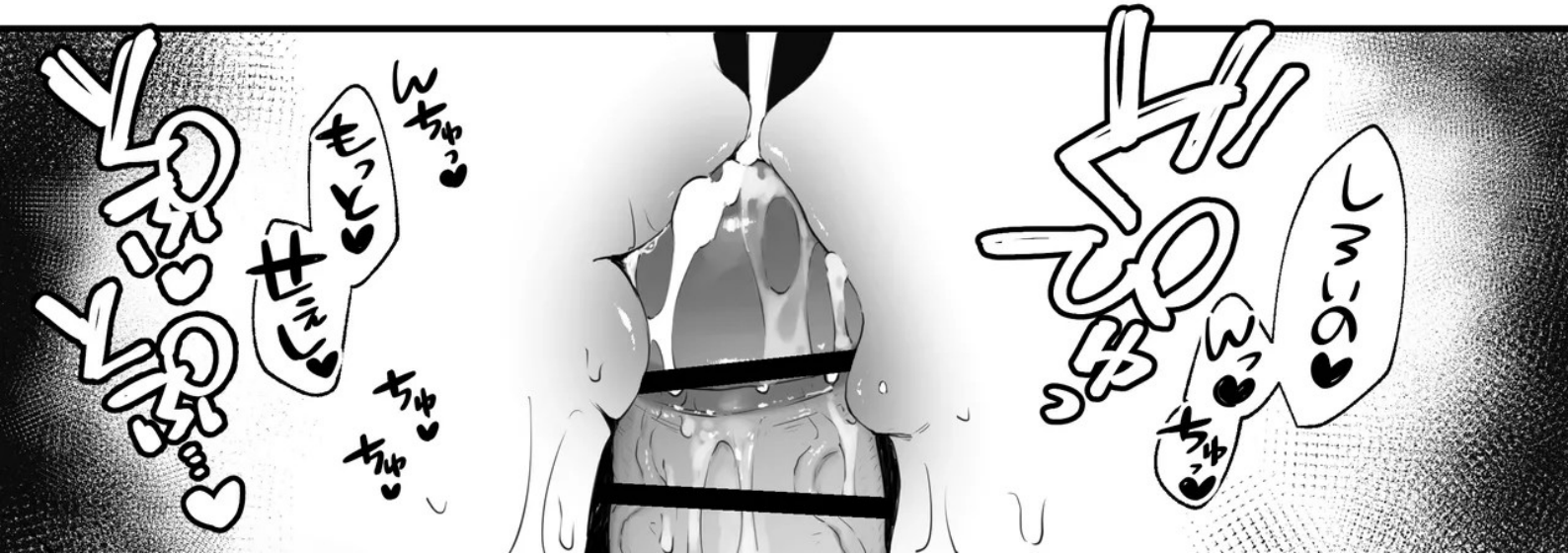
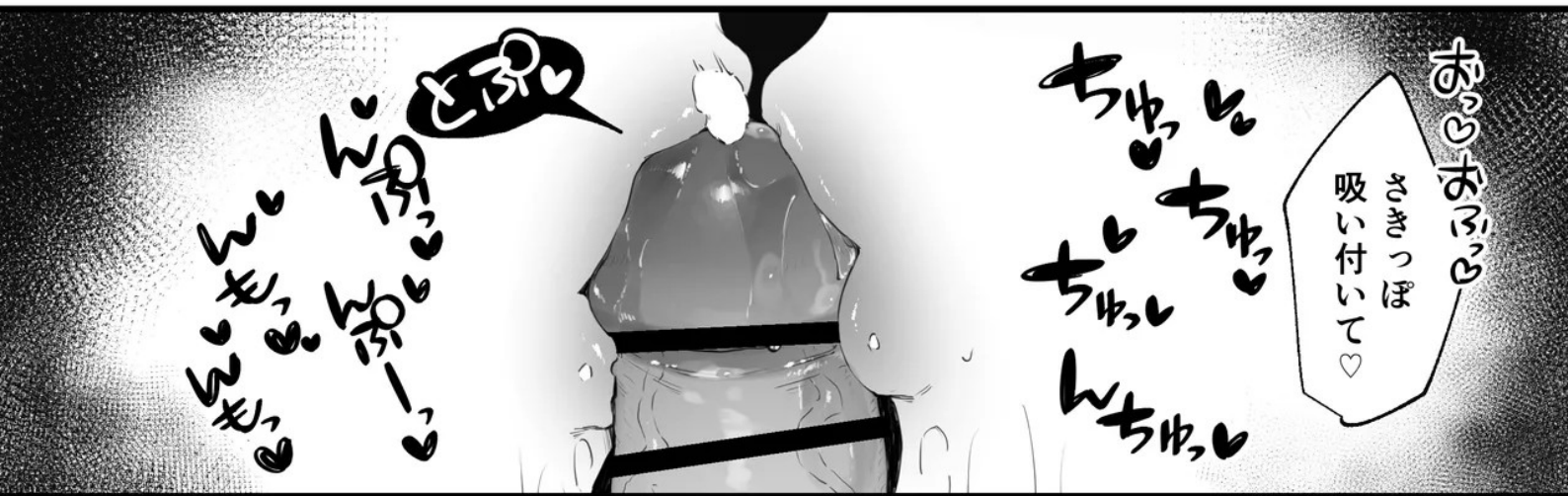














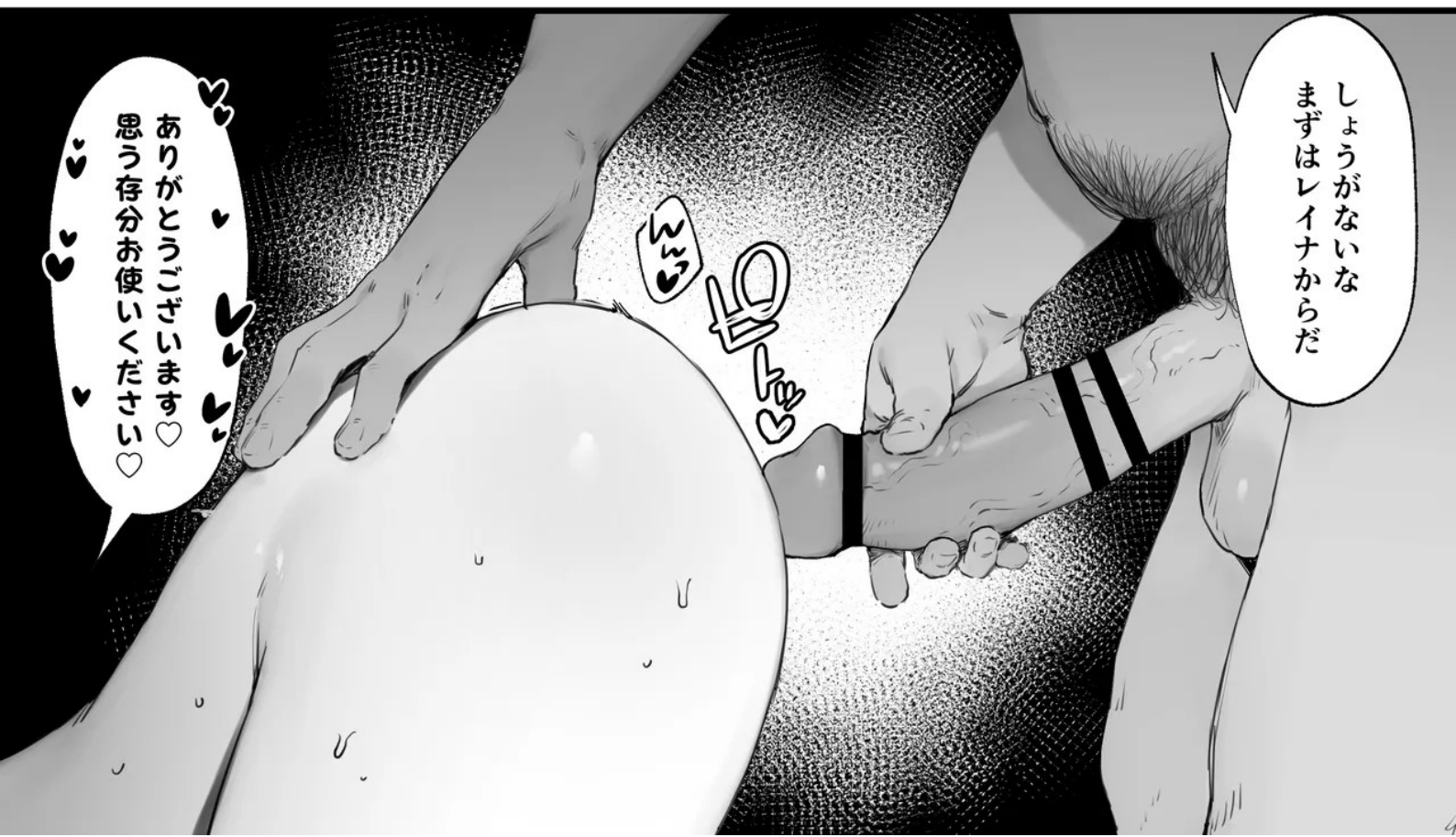
あなた♡
次はどちらに
なさいですか♡

どちらの穴も
キレイにしております♡
好きな方を♡

はぁ...♡
はぁ...♡

だめじゃないか
2人ともこんな
おもらしして♡

はぁ...♡
はぁ...♡



しょうがないな
まずはレイナからだ

はぁ...♡
はぁ...♡

ありがとうございます♡
思う存分お使いください♡



それからあたし達は
狂ったように求めた

んんんんん
ちゅ♡ちゅ♡
さぁ♡
おめ♡おめ♡

気持ちいい...
ユウナでるぞお...♡

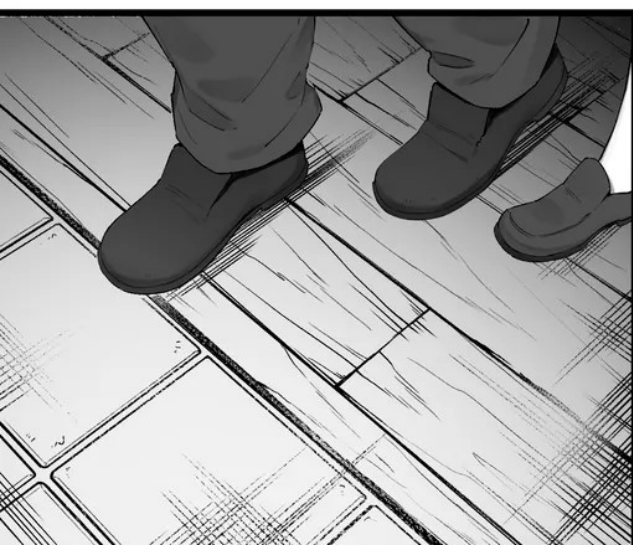
ユウナあたしにも
飲ませて.....♡

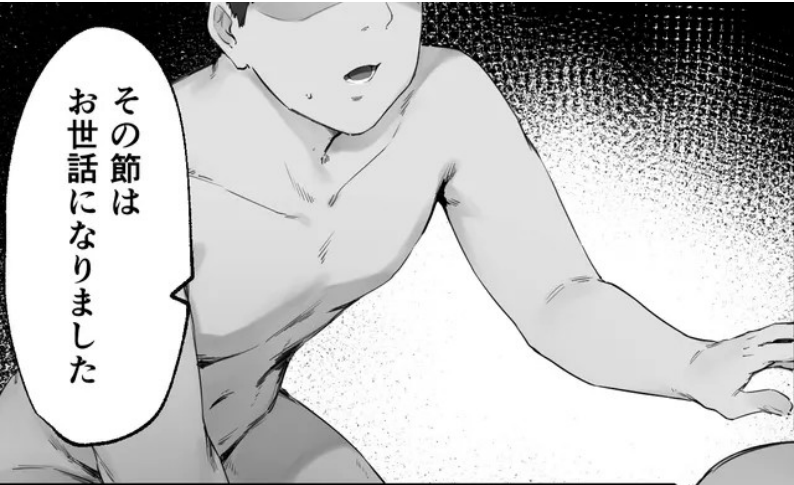
ちゅ

2人揃ってすっかり
ちんぽ狂いになっちまって

2人揃ってすっかり
ちんぽ狂いになっ
ちまって







その節は
お世話になりました



お久しぶりで
ございます
王女様……



今日はレイナが
カイトくんの話がある
ということだ

このような機会を
あたえていただき
ありがとうございます



カイト久しぶりね
あたしねカイトに
どうしても会いたいって
お願いしたのっ

そしたらね
会うだけじゃなくて
一緒にくらしていって
王女様いつてくれたの

それだけじゃないのよ
パパもね
一緒に暮らそうって
言ってくれたのっ

あたし思ったの
こんなに優しい人達に
囲まれてなんて
幸せなんだろうって



カイトどうしたの？
なんでそんな
悲しい顔するの？

もしかしてもう
兵士になるって
言っちゃったの？

あたしたち
また一緒に
暮らせるのよ？

全て知らない言葉に
聞こえた——

兵士にならずに
一緒に暮らしたい
今からでも
おとなないや

全て知らない
人に見えた——

ははははは

好きだから
ええわ

いっせえい——



いじつは——



誰だ――？

一年後――



君たちここは
危ないから
ここで遊んじゃだめだ



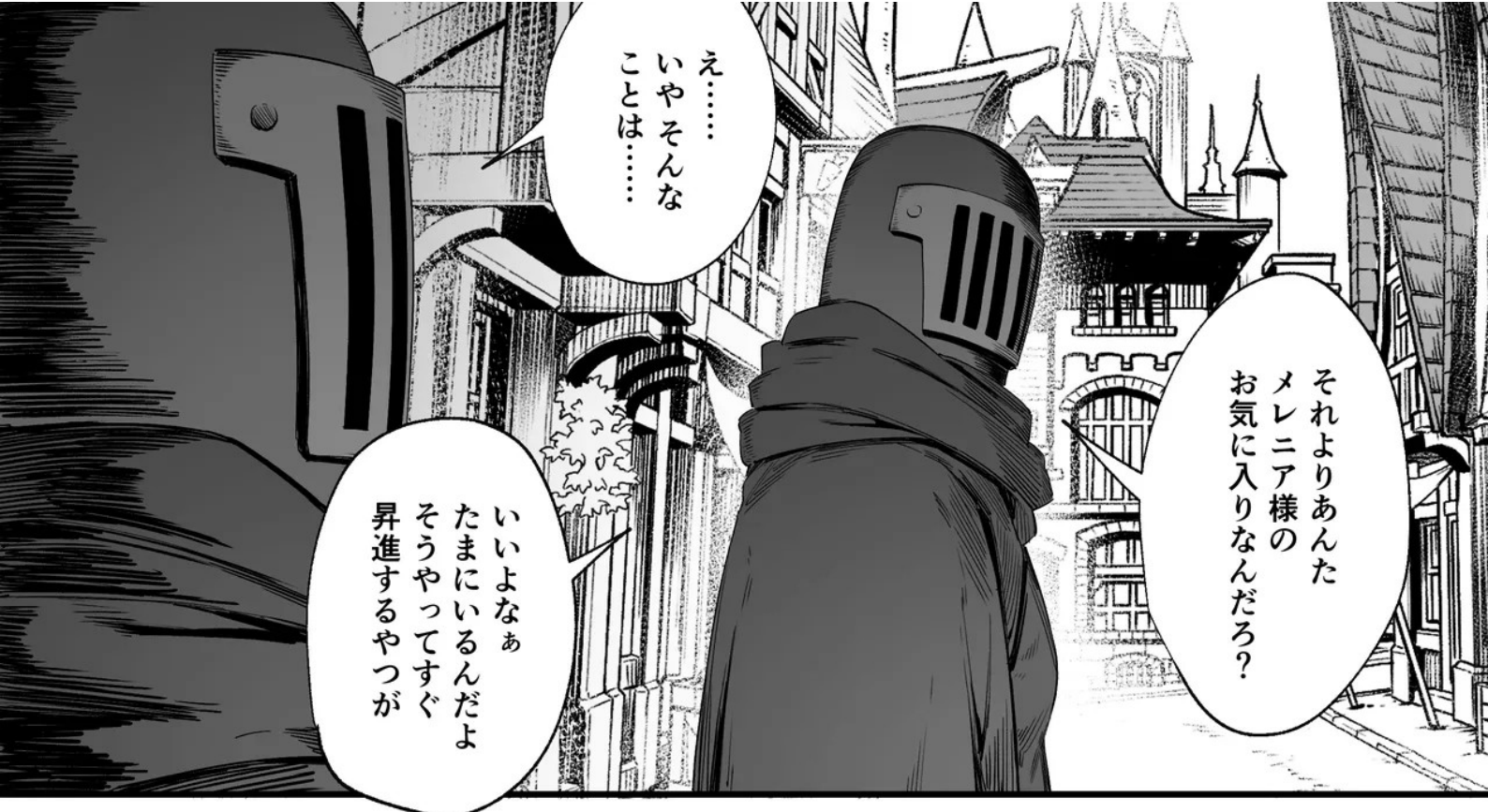
今からメレニア様が
お通りになるッ

道をあけろッ!!



メレニア様も
なんでこんな
狭いところ
通るんでしょうね

たまにあるんだよ
ピンポイントで
変なところ通る時がな





次はこの人
なんだって
お兄ちゃん——

